

2019年9月10日

日本メジフィジックス株式会社

千葉事業所内に「CRADLE (クレイドル) 棟」を竣工 「セラノスティクス」の創薬拠点が完成

日本メジフィジックス株式会社は、この度、千葉事業所（千葉県袖ケ浦市）内に建設を進めておりましたセラノスティクス（治療と診断の融合）の実現を推進するための創薬拠点「CRADLE 棟」を竣工いたしましたので、お知らせいたします。

CRADLE 棟の概要は、以下のとおりです。

名称：	CRADLE 棟
開設地：	千葉県袖ケ浦市北袖 3-1 日本メジフィジックス千葉事業所内
規模：	建築面積 約 980 m ² 延床面積 約 1900 m ² （構造：1階 RC 造 2階鉄骨造）
用途：	放射性治療薬および診断薬の研究開発、治験薬の製造出荷
主な設備：	サイクロトロン、合成装置等
着工：	2018年10月
竣工：	2019年9月10日
稼働開始時期：	2020年春（予定）
総投資額：	33億円

治療と診断がより密接に関連するセラノスティクスは、個別化医療や医療費の有効活用への貢献が期待されます。当社は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の平成 29 年度「医療研究開発革新基盤創成事業（C*i*CLE¹）」（第 2 回）に採択された研究課題²）を推進し、放射線の一種であるアルファ線³）を放出するラジオアイソトープ（RI：放射性同位元素）を用いた治療薬と、そのコンパニオン診断薬⁴）を開発することにより、セラノスティクスの実現を目指します。当社は、本研究課題を「プロジェクト CRADLE（Consortium for Radiolabeled Drug Leadership）」として、複数のアカデミアや製薬企業とともにコンソーシアムを形成し、それぞれが保有する高度な知識や技術を融合させて研究開発を推進しています。

当社は、CRADLE 棟の竣工を機に、9 月 1 日付で新たな組織となる「セラノスティクス開発センター」を設立しました。プロジェクトの専任部門を配置することで、CRADLE 棟からのアルファ線放出核種の供給を早期に実現させるとともに、同事業所内にある創薬研究所と千葉工場との連携を更に強化して、セラノスティクス創薬の開発を加速してまいります。

- ¹） C*i*CLE：AMED が推進する事業の一つで、革新的な医薬品・医療機器等の創出に向けて、政府出資を活用し、産学官が連携して取り組む研究開発を支援し、またその環境の整備を促進するもの。（AMED のホームページから）
- ²） 「セラノスティクス概念を具現化するための創薬拠点整備を伴う、抗体等標識治療薬（アルファ線）とコンパニオン診断薬の開発」
- ³） アルファ線：他の放射線に比べ、生物学的効果が高く、飛程が短い特色をもつ。目的とする癌細胞をより強力に破壊する一方、透過力が弱いため正常組織に対する影響も最小限に抑えられ、悪性腫瘍を集中的に攻撃する効果の高い治療が期待できる。
- ⁴） コンパニオン診断薬：特定の医薬品の有効性や安全性を一層高めるために、その使用対象患者に該当するかどうかなどを予め検査する目的で使用される診断薬。

日本メジフィジックス株式会社について

日本メジフィジックス株式会社は、放射性医薬品の国内トップメーカーとして、研究開発、製造、安定供給に日々取り組んでいます。当社は、国内の核医学診断分野で培った技術力と信頼をベースに、既存事業の枠を超えた『セラノスティクス（治療と診断の融合）』、『デジタル技術の活用』、『アジアの核医学のリーディングカンパニー』の早期実現を目指してまいります。当社は、生命関連企業としての価値創造を継続し、社会に貢献していきます。

当社の詳細情報は <https://www.nmp.co.jp> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

日本メジフィジックス株式会社（URL: <https://www.nmp.co.jp>）

総務人事部（広報担当）：東京都江東区新砂 3-4-10 電話 03-5634-7006 e-mail: nmp_press@nmp.co.jp